



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

##### ア テーマ（主題）

人とつながり自然と触れ合う魅力ある学校づくり

##### イ 主な活動内容について

#### 【1年 むかしからの遊び交歓会】

(ねらい) 伝統的な遊びを老人会や婦人会の方々に教えていただき、地域の方々との交流を深める。

(活動の実際)

- ・ 地域交流センターに依頼の連絡をする。
- ・ 全8種類の遊びを教えていただくコーナーを体育館に作る。その中の4種類の遊びを1つにつき20分ずつ教えていただく。
- ・ 児童代表が、感想、お礼の言葉を述べる。
- ・ 各教室で交流給食を行う。



あやとり名人さんとの交流



お手玉名人さんとの交流



竹トンボ名人さんとの交流



輪投げ名人さんとの交流

#### 【3年 金子のきらり見つけた】

(ねらい) 地域を大切にし、古くから行われてきた行事や文化財について地域の方に教わり、それを将来へ受け継いでいくことを考え実践することができる。

(活動の実際)

- ・ 金子校区のよさについて話し合う。
- ・ 一宮神社の宮司さんに一宮神社の歴史や神様のことなどについてお話を聞く。
- ・ 小女郎狸踊り保存会の方のお話を聞き、踊りを教わり、一緒に踊る。
- ・ 一宮神社と小女郎狸について課題をもち、グループで調べ、発表する。
- ・ 地域の方から太鼓祭りのお話を聞く。
- ・ 太鼓祭りについて課題をもち、調べ、発表する。
- ・ おうちの方に昔の金子の様子を聞く。
- ・ 昔の金子について課題をもち、調べ、発表する。



一宮神社での様子



小女郎狸踊りの練習



運動会での披露



太鼓台とのふれあい

#### 【4年 とともに生きる】

(ねらい) お互いを大切にし、だれもが安心して生活できる町であるために、どのようなことがなされているかを調べ、これから自分やみんなができることを考え、実践することができる。

(活動の実際)

- ・ 国語「だれもがかかわり合えるように」を学習し、さらに知りたいことを話し合う。
- ・ 視覚障がいについて教えてもらい、アイマスクを使った介助体験をする。

- ・ 聴覚障がいのある方、視覚障がいのある方と交流する。
- ・ 福祉センターを見学し、施設内の工夫について調べる。
- ・ 課題を立て、調べ、発表する。自分にできることを考え実践する。



手話でお礼を



視覚障がいのある方と交流



福祉センター見学



児童発表資料

### 【全校 感謝集会】

(ねらい) 地域の見守り隊の方々にご来校いただき、日ごろのお礼をするとともに、地域の方々の子どもたちへの思いにふれる。

(活動の実際)

- ・ 地域の見守り隊の方々にご来校のお願い・案内を行う。
- ・ 1時間の全校集会を行い、ご来校いただいた方々からの自己紹介とお話をお聞きする。
- ・ 児童から、お礼の言葉とともに手紙・花の苗を贈る。



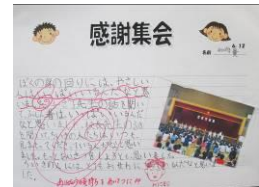
自己紹介の様子



お礼の言葉の様子



花の苗等贈呈の様子1



児童の感想文

### ウ 成果と課題

- 地域の方との交流は、地域を知る・人を知る・地域や人への尊敬・感謝の思いを高めることになり、児童と地域とのつながりができ、持続する関係性へのきっかけを得ている。
- 保護者のボランティアや地域の方が大変協力的であり、金子の子を地域で育てようとする思いが伝わってくる。学校の教育活動が、家庭・地域の力によって支えられている。
- 人と人の温かなふれあいが体験でき、コミュニケーションの輪が広がっている。
- 近隣の学校との小中連携・小小連携が定着してきた。児童の中学進学への不安を抑え、希望は増していると思う。
- 交流活動を重ねることで、児童の中にこの先の交流活動への期待が生まれている。
- 学校と家庭・地域が連携することで、子どもたちと地域の人々との交流が学校の活動の中でも行えている。
- 校内研修の時間をとり、各学年のE S D視点での主となる活動計画やE S D年間計画、E S Dカレンダーを作成した。次年度への引き継ぎはしやすくなったと思う。
- 連絡・調整を行っていくのは当然であるが、町探検など天候により実施が左右される活動については、施設との連絡・ボランティアの保護者との連絡・調整が困難なときがある。
- 様々な機会をもって地域との交流を行っているが、それが地域の方々とのあいさつに反映されているとは言いがたい。児童にあいさつするよさを教え、今後も引き続き、「おはようサンサン!!!あいさつプラス1運動」を地域全体で活性化させていくことが必要と思う。
- 現実として、E S D、ユネスコスクールとしてやらなければならないことが少しずつ増えていくことは望ましくないと思う。学校としてできることを続けていきたい。活動ごと、また年度ごとの反省をきちんと行い、課題を改善していく姿勢で臨みたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）